



セーフコミュニティ通信 第11号

発行：平成29年12月 郡山市セーフコミュニティ推進協議会

ありがとうございます！ セーフコミュニティ認証の内定をいただきました！

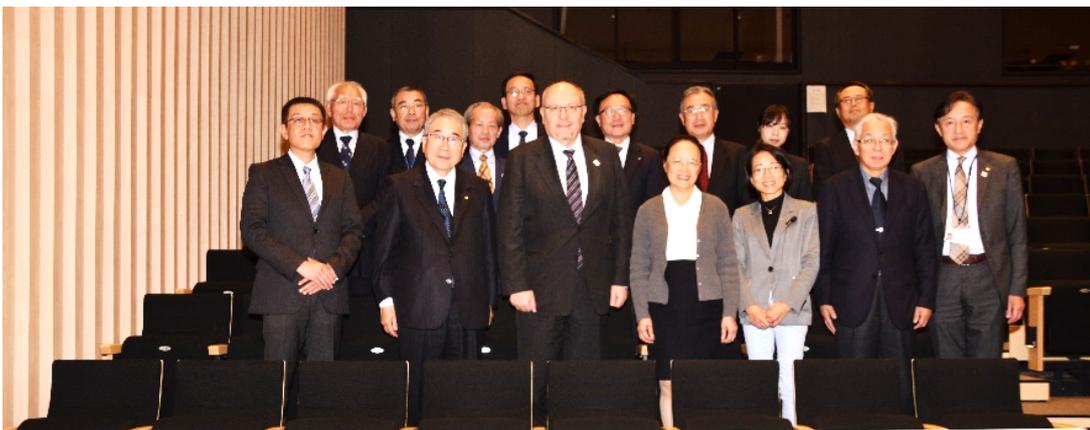
平成29年11月9日（木）、10日（金）、中央公民館等で海外認証審査員2名による現地審査が行われ、審査の結果、セーフコミュニティ認証の内定をいただきました。
平成30年2月に正式に認証を取得できる見込みで、国内では15番目、県内では初の認証取得になります。



審査では、外傷サーベイランス委員会、郡山市の課題解決に向けた6分野の委員会（交通安全、こどもの安全、高齢者の安全、自殺予防、防犯、防災・環境安全）がこれまでの取組などを発表しました。

審査員からは高い評価をいただき、世界の良好なセーフコミュニティ活動を集めた事例集（good example）に郡山市が登録され、世界中に発信されることとなりました。

これからも、安全・安心への取組を続けていきますので、今後も皆様のご理解、ご協力をお願いします。



11月20日に
セーフコミュニティ
認証の内定通知書を
いただきました。



郡山市セーフコミュニティ現地審査 Koriyama City Safe Community On-site Evaluation

認証について…

認証センターと合意書を交わした時が認証の日となります。認証式は、平成30年2月2日に開催します。



現地審査1日目 平成29年11月9日(木) 郡山市全体の説明、5つの委員会の発表を行いました。

○郡山市全体の説明(植木市民安全課長)



○外傷サーベイランス委員会(寺西寧委員長)



○交通安全対策委員会(安部賢児委員長)



○こどもの安全対策委員会(吾妻利雄委員長)



○防犯対策委員会(佐藤晃正委員長)



○高齢者の安全対策委員会(船山陽子委員長)



セーフコミュニティ活動を推進している他の自治体職員や対策委員が視察に訪れました。



パンフレット、チラシ等の掲示

審査会場には、様々な活動の成果を掲示し、審査員にアピールしました。



現地審査2日目 平成29年11月10日(金) 2つの対策委員会の発表、現地視察が行われました。

○防災・環境安全対策委員会の発表 (國分晴朗委員長)



○自殺予防対策委員会の発表 (若月ちよ委員長)



現地視察

地域の子どもたちと高齢者が参加した「ふれあい防火教室」(日和田町)



審査員の先生も一緒に体操しました

みんなでいきいきはらだプロジェクトの皆さんによる「いきいき百歳体操」

講評

パイル(白 璐) 審査員

郡山市の取組は、他の自治体にとっても、とても良いモデルになると考えます。この数年間、一生懸命に活動を続けた成果が現れ始めていると感じました。この取組をぜひ続けていただきたい。



ミカエル グリブナ (Michal GRIVNA) 審査員

セーフコミュニティは市民の皆さんのためのものです。皆さんが主体性をもって取り組んでいくことがとても大切です。皆さんの発表は、主体性が感じられる内容でした。



《お知らせ》「セーフコミュニティ」の出前講座

町内会や地域の会合、ご近所の方の集まり…などの場に出向いて説明させていただく「市政きらめき出前講座」を行っています。

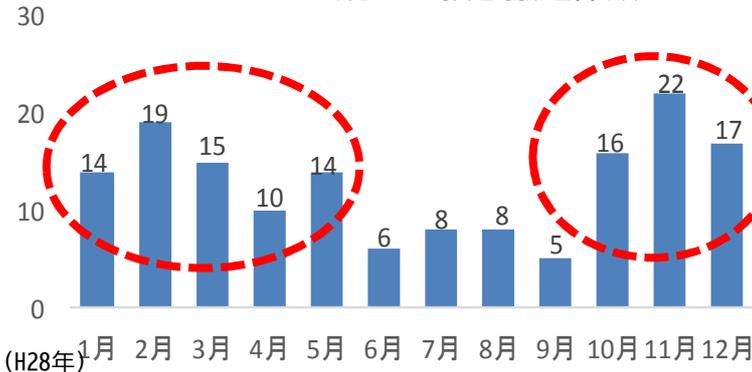
お気軽に市民安全課へご連絡ください。(電話924-2151)

無料です



ヒートショック 寒い時期は特に注意を！！

(件) ヒートショック疑いの救急搬送件数



平成28年中、浴室（シャワー室、洗面所）で154件発生しています。

そのうち127件は、1月～5月、10月～12月の間に発生しています。

年齢区分別では、高齢者が104人で66%、成人が43人で28%、少年が4人で4%、乳幼児が3人で2%です。

ヒートショックとは、急激な温度変化による血圧の変動で、身体の不調を引き起こす現象です。

寒い時期の入浴などで発生することが多く、心筋梗塞や脳卒中を引き起こしたり、意識を失い溺れてしまう危険性もあります。

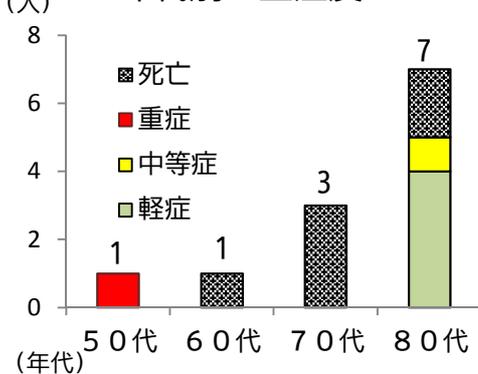
特に、高齢の方や、持病に高血圧、糖尿病などがある方は注意が必要です。

《安全に入浴するために》

- ①入浴前に脱衣所や浴室を暖めましょう。
- ②お湯の温度は41度以下、お湯につかる時間は10分までを目安にしましょう。
- ③浴槽から急に立ち上がらないようにしましょう。
- ④飲酒時、食事直後の入浴は控えましょう。
- ⑤入浴する時は、家族に一言声をかけるようにするなど心がけましょう。

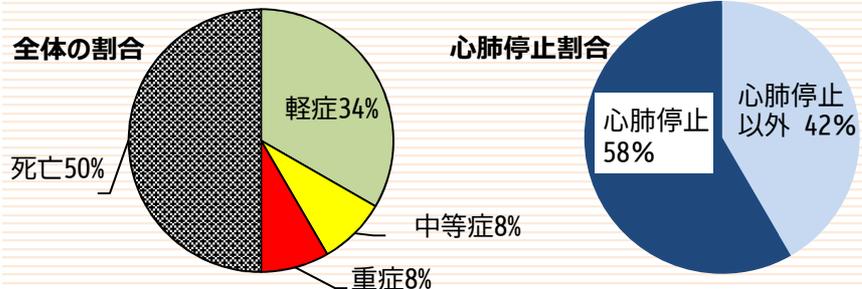
おいしいお餅、食べる時には少しだけ気をつけて！！

(人) 年代別の重症度



平成26年度～28年度中に餅による窒息で救急搬送されたのは12名で、約90%が高齢者でした。

郡山市全体の救急要請から見れば少ない発生件数ですが、心肺停止率及び死亡率が高くなっています。



高齢の方は、健康な歯の減少、唾液の分泌低下、食べ物を噛む機能や飲み込む機能が低下して誤嚥性肺炎や窒息を起こしやすくなっています。食事中に急に上を向いたり、食べ物を口に入れたまましゃべらないようにしましょう。また、食べ物は小さく切る、水分をとりながら食べる、しっかり噛むようにするなど心がけましょう。

雪や凍結路面での転倒事故に注意を！！

雪や凍結した路面での転倒による救急搬送は、平成26年度～28年度に127件あり、高齢の方は重症化しやすい傾向があります。慣れた道や場所でも、十分気をつけましょう。



郡山地方広域消防組合は、
けがなどを予防する
『予防救急』に取り組んでいます。

発行 郡山市セーフコミュニティ推進協議会

【お問合せ・連絡先】

郡山市市民部市民安全課セーフコミュニティ推進室（郡山市役所西庁舎3階）

電話024-924-2151 ファクシ024-921-1340

メールアドレス siminanzen@city.koriyama.fukushima.jp



郡山市 セーフコミュニティ

検索

市民意識調査の結果、郡山市のけがや事故の状況等のデータなどがダウンロードできます